

4. 基本構想の目標と基本方針

(1) 基本構想の目標

すべての人に楽しく安全な道筋づくり

長田地区の生活拠点として、地域の歴史や文化・生活利便施設を活かし周囲の住宅地・自然環境と調和した一体的なまちづくりを推進することにより、人が集い賑わう個性的で魅力ある地区へ発展していきます。

このため、高齢者、障がい者のみならず市民及び来訪者を含めた、すべての人に楽しく安全な人優先の道筋（経路）づくりを目指します。

(2) 基本方針

● 自由に日常生活・社会生活へ参加できる都市空間の形成

◇ 交通結節点・公共施設等を中心に、すべての人が自由に日常生活・社会生活へ参加できる都市空間の形成を推進します。

- ・ 交通機関乗り継ぎ環境の充実
- ・ 施設内の自由な移動経路の確保
- ・ 施設初回利用者でも容易に判断できる情報提供の充実
- ・ 市民、来訪者の幅広いニーズにきめ細かく対応できるよう継続的な改善実施

● 安全・安心・快適な歩行空間の形成

◇ すべての人が安全・安心して、自らの意思で移動手段を選択でき、自由に移動できる歩行空間の形成を推進します。

- ・ 連続した歩行空間の確保
- ・ 歩行者安全対策の充実
- ・ 統一したわかりやすい案内標識設置など情報提供の充実
- ・ 市民、来訪者の幅広いニーズにきめ細かく対応できるよう継続的な改善実施

● 地区拠点整備・関連事業との連携

◇ 駅機能を中心とした整備を進める中で、長期的な拠点形成も視野に入れた地区整備構想との連携を図ります。

- ・ 駅舎や駅前広場など交通拠点整備におけるバリアフリー化の実施
- ・ 駅前への交通アクセス改善における沿道施設等と連携したバリアフリー化の推進

● 多様なパートナーシップによるユニバーサルデザインの浸透

◇ 市民と行政・関係事業者のパートナーシップのもと、すべての人がバリアフリー化に継続的に取り組むことによりユニバーサルデザイン社会を推進します。

- ・ ハード・ソフト両面から一体的にバリアフリー化を推進
- ・ 整備されたバリアフリー空間を維持・改善していくための体制づくり
- ・ 継続的なバリアフリー意識の啓発・PR